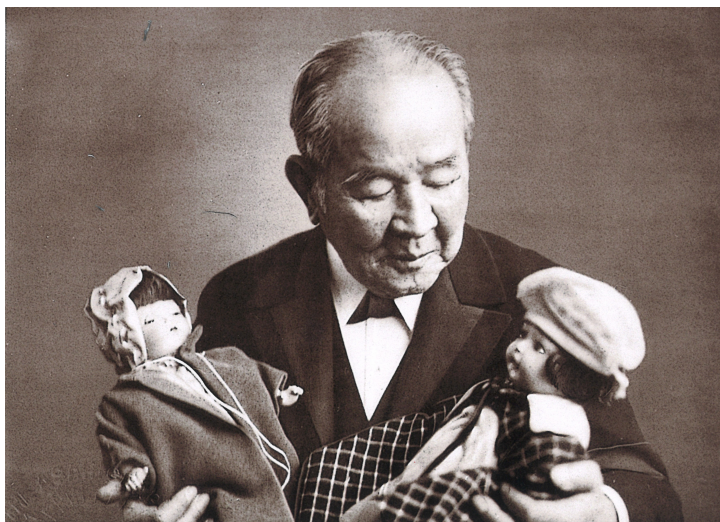




島原城築城 400 年記念事業協賛事業 第 225 回市民文化講座

これからの日米親善人形交流

シドニー・ギュリックと渋沢栄一の未来観から学ぶこと



「渋沢栄一と青い目の人形」(渋沢史料館所蔵)

日本国際児童親善会 2 文部省にて(昭和 2 年 3 月 3 日)(常図 68-1)

長崎市平和特派員でもあり、親善交流の歴史を伝えている宮崎広和先生の講演会を実施します。全国で3か所目となる日米親善人形交流記録映像 Doll Messengers of Friendship(1929 年)も同時上映!(詳しくは、裏面をご覧ください)

島原市には、日米親善人形リトル・メリーが、第一小学校に残っています。歴史を振り返りながら、島原から繋いでいく人形交流の未来を、一緒に考えてみませんか。

◆日時 **7月30日(日) 10時~12時**

◆場所 **島原城観光復興記念館**

◆講師 **宮崎 広和 先生** (米国ノースウェスタン大学教授)

◆参加費 **無料** ※島原城への駐車は有料です。

主催: 島原親善人形の会・島原市教育委員会・島原文化連盟

問い合わせ先: 島原市教育委員会社会教育課 電話68-5473

講演の概要

日米関係が悪化した1927年に行われた日米人形交流には、シドニー・ギュリックと渋沢栄一のそれぞれ独自の未来観が織り込まれていました。今回の講演では、それぞれの未来観を丁寧に掘り起こしながら、1970年代に再発見され、身近な相互理解と平和の心や国際理解の大切さを伝えるため、様々な形で展開する現在進行形の人形交流に、どのような未来があるのか、そしてそこにどのような未来像が示されているのか、子供の視点も含めて、いくつかの事例を検証しながら、考えてみます。

新発見！‘青い目の人形歓迎式の記録フィルム’と渋沢栄一

日米人形交流記録映像 Doll Messengers of Friendship 上映会

2016年、1927年の日米人形交流の記録映像が、イリノイ州シカゴ市郊外で発見されました。日本国内には現存が確認されていない貴重な映像です。発見された映像は、シカゴ映像協会が、全米映像保存財団からの助成を得て、修復を行いました。今回の上映会は、2020年3月21日「埼玉県立歴史と民族の博物館」での日本初公開、2023年2月11日「長崎原爆資料館」での長崎県初公開に続く、島原市での公開です。

島原市と島原親善人形

島原市立第一小学校には、青い目の人形「リトル・メリー」が残っており、平和の使者として、日米親善人形交流の歴史を伝えています。

2003年からは「島原親善人形の会」の活動である企画展や語り部活動、交流事業などを通じて、島原の歴史における日米親善人形交流の歴史と意義が伝えられ、今では島原市民の多くの方に「リトル・メリー」に親しんでいただけるようになりました。

また、「リトル・メリー」は、2015年12月1日に島原市より「特別住民票」が授与され、「島原市指定文化財」となりました。

その後、島原市と姉妹都市である愛知県幸田町の青い目の人形「グレース・エッサ」と「姉妹友好の誓い」をたて、共に島原市と幸田町との友好親善大使として活躍しています。また姉妹都市の京都府福知山市の青い目の人形「ヘレン・ウッド」とも対面し、友好交流を深めています。これからも「リトル・メリー」は島原市の友好交流の懸け橋として活躍していくことでしょう。



「リトル・メリー」
島原第一小学校所蔵
(写真提供：島原親善人形の会)

【プロフィール】

宮崎 広和 (みやざき ひろかず)



ノースウェスタン大学教授(文化人類学)。専門は、経済人類学、平和の人類学、贈与交換論、希望論。長崎市の平和特派員として、ニューヨーク州ロチェスター市とイリノイ州エバンストン市とシカゴ市を中心に、様々な団体や個人と協力して、核兵器廃絶に関するイベントや活動を企画・実行している。また、日米人形交流やキッズゲルニカなど、長崎における平和へ向けた文化的活動の研究をしている。著書・共著書に、『希望という方法』、『平和を生きる日米人形交流』などがある。